

論証型レポート 自己チェック表 - 形式編 -

形式はレポートの最も基本的な要素です。まずこの表で基本要素をクリアできているか、チェックしましょう。レベルの判断が難しい場合や、チェック項目の意味が分かりにくい場合は、学習アドバイザーへ質問しましょう。

チェック項目	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	
指示に沿ったレポートの体裁	① 指定の分量に届いているか。	指定された分量の±50%書いている。	指定された分量の±20%まで書けている。	指定された分量の±10%まで書けている。	指定された分量の±5%まで書けている。
	② 表紙があるか。 ※指示が無い場合は省く。	表紙がない。		表紙があり、正しく記入されている。	
	③ タイトル、氏名、学籍番号、授業名、担当教員名、ページ数を記入しているか。	タイトル、氏名、学籍番号、授業名、教員名、ページ数がない。	タイトル、氏名、学籍番号、授業名、教員名、ページ数を一部書いているが全てそろってはいない。	タイトル、氏名、学籍番号、授業名、教員名、ページ数はあるが、位置に不備がある。	タイトル、氏名、学籍番号、授業名、教員名、ページ数を適切に記入している。
	④ タイトル、見出し、本文のフォントの使い分けが適切か。 (例：タイトル・見出しはゴシック、本文は明朝。)	タイトルや見出しが無い。本文のフォントを極端に大きい。	フォントの形と大きさに統一感が無く、読みにくい。	フォントの形と大きさを使い分けているが、不要なフォントがあるなどバランスが悪い。	フォントの形と大きさに統一感があり、全体のバランスが良い。
	⑤ 字は丁寧かつ正確か。	誤字・脱字が多すぎる。手書きの場合、読めないほど雑である。	誤字・脱字が目立つ。手書きの場合、何とか読めるがストレスがかかる。	誤字・脱字が若干見られる。手書きの場合、読みやすい字で書かれている。	誤字・脱字がない。手書きの場合、読みやすい字で書かれている。
	⑥ 全体の内容が分かるタイトルか。	タイトルが無い。もしくは本文とは関係のないタイトルである。	本文の内容が分からないタイトルである。	タイトルを工夫しようとしているが、一見して全体の内容が分かりにくい。	タイトルを一見して全体の内容が分かるようになっている。
主題	⑦ 課題の内容に合った主題か。	主題がない。	課題の内容とは関係のない主題になっている。	課題の内容と関係のありそうな主題・結論を書いているが、正確に答えられていない。	課題の内容にあった主題・結論になっている。
文章構成	⑧ レポートに相応しい言葉使いになっているか。	話し言葉やレポートにそぐわない言葉使いが多すぎる。	話し言葉やレポートにそぐわない言葉使いが目立つ。	レポートに相応しい学術的な言葉使いをしようとしているがレポートにそぐわない言葉使いがある。	レポートに相応しい学術的な言葉使いになっている。
	⑨ 文章を成しているか。	文章になっていない。箇条書き、単語の羅列に終始している。	文章になっているが、文法の間違いが多すぎて意味の理解に支障がある。	文章になっているが、文法の間違いが目立つ。	文法的な間違いがない文章になっている。
	⑩ 段落を成しているか。パラグラフ・ライティングができていないか。	段落がない。一字空けができていない。	段落はあるが、パラグラフ・ライティングができていない。	段落があり、パラグラフ・ライティングを不完全ながら意識している。	段落があり、パラグラフ・ライティングができていない。
	⑪ 全体が三部構成を成しているか。	序論・本論・結論の体を成していない。	序論・本論・結論に明確に分けられていない。	序論・本論・結論が明確に分けられているが分量のバランスが悪い。	序論・本論・結論の三部構成が明確にできている。分量のバランスが良い。
引用の仕方	⑫ 引用が正しくできているか。	自他の文の書き分けができておらず、引用のルールに則っていない。参考文献リストがない。	引用のルールに従おうとしているが自他の文の書き分けができていない。参考文献リストがない。	引用のルールに従って自他の文の書き分けを試みている。参考文献リストはあるが書き方が悪い。	ルールに則った引用ができていない。参考文献リストの書き方も適切である。

論証型レポート 自己チェック表 - 内容編 -

序論・本論・結論の書き方と、それぞれの論理的なつながりをチェックしましょう。レベルの判断が難しい場合や、チェック項目の意味が分かりにくい場合は、学習アドバイザーへ質問しましょう。

チェック項目		レベル1	レベル2	レベル3	レベル4
序論の書き方	①資料を論拠にした問いを立てているか。	問いにあたる記述がない。	問いにあたる記述はあるが、課題と関係が薄い。資料を論拠にした問いではない。	課題に応える問いはたてているが、資料を論拠にした問いではない。	資料を論拠にして、課題に応える問いを立てている。
	②レポートの見通し、主題が端的に書けているか。	レポートの見通し、主題が書かれていない。	レポートの見通し、主題のいずれかが書かれていない。	レポートの見通し、主題が書かれているが、つかみにくい部分がある。	レポートの見通し、主題が過不足なく端的に書けている。
本論の書き方	③参照した資料に対し、自身の解釈が論理的に述べられているか。	解釈にあたる記述がない。	解釈はあるが、資料と噛み合っていない。	参照した資料の解釈はあるが、論理的ではない。	参照した資料に対する解釈が論理的に述べられている。
	④情報の原典を参照しているか。 ※原典：引用・参考にした情報のもともとのよりどころとなる文献	情報の原典を全く参照していない。	情報の原典を参照していない箇所が多い。	情報の原典を参照していない箇所が若干ある。	情報はすべて原典を参照している。
	⑤主張にあった根拠か。	根拠が主張の説明になっていない。	主張と根拠に関連はあるように見えるが、つながりが甘く説明になってはいない。	根拠が主張を説明してはいるが疑問点が残る。	主張のために適切な根拠を挙げており、無理なく結論を導き出している。
	⑥根拠に具体性・説得力はあるか。	抽象的・精神論的な根拠ばかりで具体性・説得力がない。	根拠の説明にデータ・事実を使おうとしているが、納得を得るには程遠い。	根拠の説明がデータ・事実に基づいて具体的ではあるが、納得できるかどうかは疑問点が残る。	根拠の説明がデータ・事実に基づいて具体的であり、説得力がある。
⑦不要な情報は無いか。必要な情報は入っているか。	主張・根拠を説明するのに有効ではない情報が多すぎる。必要かつ有効な情報が無い。	主張・根拠を説明する情報を取捨選択しようとしているが、不十分である。	主張・根拠を説明するのに必要な情報を取捨選択しているがまだ不要・有効ではない情報がある。	主張・根拠を説明するのに必要な情報を取捨選択し、過不足なく含まれている。	
書き方の結論	⑧妥当な結論が序論・本論から無理なく導き出されているか。	結論と序論・本論で書いていることが食い違っている。	結論が、序論・本論の流れから無理がある。	結論が序論・本論から無理なく導き出されているが、妥当であるかは疑問である。	結論は序論・本論から無理なく導き出されており、かつ妥当な結論であると言える。
論理的なつながり	⑨序論に書いた主題について一貫して述べられているか。	序論に主題がない。または、序論で書いた主題と関わりのないことが全体的に述べられている。	主題はあるが課題に応えるものではない。途中でずれが見られ、一貫していない。	序論で課題に応える主題を立てているが、途中でずれが見られ、一貫していない。	序論で課題に応える主題を立て、全体を通して一貫して述べられている。